

特定非営利活動法人ちいろば

住所 206-0003
東京都多摩市東寺方1-16-3

ハンディのある なかまたちと 働くお店

Tel 042-372-3015

E-mail chiiroba@chiiroba.tokyo

<https://www.chiiroba.tokyo/index.html>

1

【お名前】

大井 崇義さん

【ちいろばに入った時期】

今年4月ごろ

【好きなこと・趣味】

音楽をきいたり、まん画を描いたりする事

【今頑張っていること】

ちいろばで仕事している事

【ちいろばでやってみたいこと】

楽しいと思う仕事を見つける事

【ちいろば通信をご覧の皆さんへ一言】

よろしく願いいたします。

新しい仲間をご紹介します

「好きなこと・夢・そして今頑張っていること」

2

【お名前】

土方 さん

【ちいろばに入った時期】

1年前

【好きなこと・趣味】

野球を見ること、自転車にのること

【ちいろばでやってみたいこと】

仕事を色々おぼえたい。

【ちいろば通信をご覧の皆さんへ一言】

人にしんせつにしてあげることが大切だと思います。

東寺方へ移転してから毎年開催している「ちいろば祭り」も、今年で20回目を迎えました。当日は天候にも恵まれ、ご利用者様のご家族やご友人、地域の皆様など多くの方にご来場いただき、大変盛況なイベントとなりました。無事に開催できたことを大変嬉しく思うとともに、移転当時の初心を改めて思い出す機会にもなりました。これからも地域とのつながりを大切にしながら、より良い施設づくりに努めてまいります。 店長 石田



たくさんの笑顔があふれる一日

うどんやフランクフルトを囲み、多くの笑顔があふれる一日となりました。



地域とつながる大切な時間

地域との交流を深める貴重な機会となりつなごりの大切さを改めて感じました。



これからも地域とともに

これからも地域とのつながりを大切にしながら、より良い施設づくりに努めてまいります。



ちいろばの家では、何らかの障害がある方が、将来に向けて、それぞれの目標を持ちながら日々の作業に取り組んでいきます。作業を通して働く力や社会とのつながりを育み、一人ひとりの得意なことや個性を大切に、仲間と支え合い、住み慣れた地域でいきいきと暮らしていけるよう支援を行います。

未来につながる仕事の時間

「見つける「できる」の力」



今後の予定

2026年 7月 July 2026						
日	月	火	水	木	金	土
28	29	30 回収日	1	2 回収日	3	4 回収日
5	6	7 回収日	8	9 回収日	10	11 回収日
12	13	14 回収日	15	16 回収日	17	18 回収日
19	20 休み	21 回収日	22	23 回収日	24	25 回収日
26	27	28 回収日	29	30 回収日	31	8/1 回収日

2026年 8月 August 2026						
日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1 回収日
2	3	4 回収日	5	6 回収日	7	8 回収日
9	10	11 休み	12 休み	13 休み	14 休み	15 休み
16 休み	17	18 回収日	19	20 回収日	21	22 回収日
23	24	25 回収日	26	27 回収日	28	29 回収日
30	31	9/1	2	3	4	5

2026年 9月 September 2026						
日	月	火	水	木	金	土
30	31	1 回収日	2	3 回収日	4	5 回収日
6	7	8 回収日	9	10 回収日	11	12 回収日
13	14	15 回収日	16	17 回収日	18	19 回収日
20	21 休み	22 休み	23 休み	24 回収日	25	26 回収日
27	28	29 回収日	30	10/1 回収日	2	3 回収日

回収日 回収日
休み 定休日



シリーズ

ちいろばの歩み

1980年代の大きな転換点

ちいろばの家は、活動を続ける中で少しずつ事業を広げていきました。元大工の技術を持つ障害のあるスタッフを中心に、ドールハウスやイスなどの木工作品を製作し、全国の保育園へ販売するなど、リサイクルだけに頼らない活動にも取り組めました。また、一部の作業所は通所授産所（障害のある人が働くための訓練や仕事を行う施設）へと発展し、地域の中で働く場づくりを進めました。当時は、まだリサイクル事業を行う団体が少なく、多摩ニュータウンは引越しの多い地域だったため、不用品の回収や販売は地域のニーズに合った大

切な活動でした。さらに、市からこみ回収に関する優遇措置を受けることもでき、地域に根ざした事業として成長していきました。しかし、二〇〇〇年頃、市からの優遇措置がなくなり、さらに新しく開設した唐木田店の経営も厳しくなってきたことで、以前のような賃金を維持することが難しくなりました。その後、ちいろばの家は授産施設へ転換することになります。制度の変化により、障害のある人へ最低賃金を支払う形での運営は困難となり、賃金の差も生まれました。それでも高い工賃を目指して努力を続けました。

●この経験は、障害のある人が地域で働き続ける難しさや、「誰も取り残さない社会」とは何かを考えるきっかけとなっています。

つづく
(文責 千種)



応援ありがとうございます

ご寄付のご報告です

寄付品は販売し、その収益を施設運営と工賃に活用しています。
集計期間 2026年3月～5月

回収件数

273 件

お持込件数

2,475 件

宅急便件数

12 件

ご寄付いただいた品目例

洋服



雑貨品



寄付品の送り先

206-0003
東京都多摩市東寺方1-16-3
ちいろばの家
電話：042-372-3015



お問い合わせ

特定非営利活動法人 ちいろば
住所：206-0003 東京都多摩市東寺方1-6-3
TEL:042-372-3015 Email:chiroba@chiroba.tokyo



●書き損じはがきや、使わなくなった切手のご寄付にご協力をお願いいたします。



●肖像権の都合で写真は使えなくなったのでイラストを写真の代わりに温かなイラストで紹介